



まちの話題



問 政策調整課：0869-22-1113

暑さを忘れたよ わくわくチャレンジ

8月7日、長船町公民館の主催で、子どもたちに年間を通じて四季折々の体験をしてもらう「わくわくチャレンジ」の一環としてそうめん流しが行われました。

竹で作った全長14mの台にそうめんや夏野菜が流されると、約200人の参加者たちは歓声を上げてつかまえていました。

このイベントに関わった多くのボランティアの一人、岡村順信さん（長船町磯上）は、「子どもたちにとって、貴重な経験になればいいですね」と話していました。



清涼感抜群のそうめん流し（左下）／器やはしも自分たちで製作（右上）



今月の表紙

9月12日に、国府小学校で瀬戸内市総合防災訓練を開催しました。市、自衛隊、地域住民、瀬戸内市消防団など約400人が参加。大規模な地震が発生し、市内各所で土砂崩れや家屋の倒壊、火災など甚大な被害が発生しているとの想定で避難誘導や消火訓練を行いました。また、消防本部による車両からの救出訓練や岡山県の消防防災ヘリコプターを使った高所救出訓練なども行われ、参加者は、防災訓練の重要性を再認識していました。

れや家屋の倒壊、火災など甚大な被害が発生しているとの想定で避難誘導や消火訓練を行いました。また、消防本部による車両からの救出訓練や岡山県の消防防災ヘリコプターを使った高所救出訓練なども行われ、参加者は、防災訓練の重要性を再認識していました。

にぎわい創出の拠点に オープンハウス・いどばたが完成



大勢の人が集まった開所式（左下）／会話に花が咲く室内（右上）

長船町福岡市場小路に「オープンハウス・いどばた」が完成し、8月1日に地域住民や関係者を集めて開所式が行われました。

この施設は、中世福岡の市の再現に取り組んでいる備前福岡大市実行委員会が活動の拠点にと開設したものです。

同委員会では、打ち合わせで使用するほか、地域住民にも開放する予定で、カウンターや冷蔵庫を設置しています。誰でも気軽に利用できる憩いと交流の場として活用することにしています。

いつまでもお元気で 100歳を迎えた高齢者をお祝い

10月5日、2日に満100歳を迎えた岩井喜久子さん（長船町長船）のお祝いに武久頭也市長が自宅を訪問しました。お祝い状を受け取った岩井さんは「祝ってもらえてありがたい」とお礼を述べていました。

8日には松本誠一さん（邑久町虫明）が満100歳を迎え、利用している小規模多機能ホームかおりを武久市長が訪問しました。職員に寿司の作り方を指導するなど、周囲も驚くほど元気な松本さん。お二人ともお体を大切にお過ごしください。



武久市長と笑顔で話をする岩井さん（左）／お祝いのケーキのろうそくを一息に消す松本さん（右）

人形劇の祭典 第22回喜之助フェスティバル



かわいい人形が勢揃いした開会式（上）／間近に見るきららの糸操りに興味津々の子どもたち（下）



人形と一体となった動きに観客全員が魅了されたかわせみ座のマリオネットライブ

8月21、22日の2日間、中央公民館で人形劇の祭典喜之助フェスティバルが開催されました。本市出身の世界的な糸操り人形師・故竹田喜之助氏を顕彰し、地域おこしにつなげようと毎年開催されているものです。

当日は、朝からたくさんの家族連れが訪れ、会場は大にぎわい。プロ劇団かわせみ座のマリオネットライブでは、犬や猫の人形が生きているかのように曲芸を行うと、子どもたちの目は釘付けに。また、アマチュア劇団では、きららが、邑久町本庄出身の歌人、正富汪洋とその妻滝野の夫婦愛を描いた「誠の人汪洋と貞女滝野」を上演し、郷土が生んだ偉人の姿を伝えました。

プロ4劇団、アマチュア8劇団が参加した今回のフェスティバル。個性溢れるステージに大人も子どもも人形劇の奥深い世界に触れることができましたようです。